

会 議 要 旨

(1 / 4)

会議の名称	令和3年度第4回川越市国際化基本計画審議会
開催日時	令和4年2月11日(木) 午前10時 開会 ・ 午前10時50分 閉会
開催場所	本庁舎A4会議室(感染対策のため、オンライン会議システムを用いて開催)
議長(委員長・会長)氏名	助川泰彦
出席者(委員)氏名(人数)	焦雁、小島有利子、栗原良則(途中退席)、小林康史、佐久間美希、清水俊男、間志津江(7人)
欠席者(委員)氏名(人数)	清水裕幸、ウェン・トゥン・アン(2人)
事務局職員職氏名	宮寄国際文化交流課長、吉野副課長、雨間主任 (計画策定業務受託事業者 (株)環境総合研究所 大谷、藤本)
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議題</p> <p>(1) 第五次川越市国際化基本計画における意見公募手続きの結果について</p> <p>(2) 第五次川越市国際化基本計画の策定について</p> <p>4 その他</p> <p>5 閉会</p>
配布資料	<p>会議次第</p> <p>川越市国際化基本計画審議会 出席者名簿</p> <p>資料1 パブコメ結果報告書</p> <p>資料2 第五次川越市国際化基本計画(最終案)</p> <p>資料3 市長あて答申書(案)</p> <p>追加資料 審議会(10月29日)及び庁議(11月9日)、検討委員会(1月13日)における指摘事項を受けての修正一覧</p>

(2 / 4)

議事の経過

1 開会

宮寄国際文化交流課長

本日はお忙しい中、会議にご参加いただきましてありがとうございます。

本日の審議会は、オンライン開催とし、例外的に非公開で傍聴を許可しない運用となっています。

2 会長挨拶

お忙しい中、ご参集いただき誠にありがとうございます。国際化基本計画の委員会を長い間続けて参りましたが、本日はいよいよ答申の日となりました。皆様のご協力によって、ここまで進んできたこと、誠にありがたく、感謝申し上げます。

世間ではオミクロン株が大流行していたり、またその新しい変種が出ていたり、先行きがどうなるかわからない、非常に不安な時代です。そのような不安の中、特に情報弱者である外国籍市民のみなさんは、日本人以上に不安を抱いていると思います。外国籍市民で、とりわけ、情報の少ない立場にある人が、ワクチンの接種を受けられるのか受けられないのかという不安の中で過ごしていることに心を痛めています。一方で、明るいニュースもありまして、北京オリンピックの開幕です。中国でのオリンピックは、これまで非常にスムーズに進んでおり、現代の中国の医学や国際的な人の行き来に対する手続きの取り方などが、この2年間で進んできており、その一つの成果が、北京オリンピックの成功という形で表れていると思います。世界各国の選手も安心して競技に臨んでいると思いますし、中には不幸なことに発症してしまい、競技に出ることを断念する選手もおりますが、そうした発見も含めて、非常に順調に進んでいることに、人類の英知が、オミクロン株とうまく戦っているのだと思います。

こうした中で感慨深く思うのは、1964年の東京オリンピックの頃は、オリンピックに出場する国々の名前を、テレビで初めて見るというような知識しか持ち合わせていなかったけれど、この50数年の間に、日本での外国人のプレゼンスが全く違っているというのがわかることです。日本でオリンピックを見て応援している人々の中にも、知り合いの人の母国の選手が今競技に出ているという気持ちで眺めている人がいると思います。それが、昔と今のオリンピックの見方、気持ち、ネットワークの在り方の違いだと思います。こうした、顔の見える、国際的な人と人との関係が、これからより大事になってくるのだと思っています。

今回の答申が、ますます川越市内における、人と人との心がつながるような市政の在り方にプラスに働くように願っています。

議事の経過

3 議事

配布資料の確認。

主な意見及び質疑は次のとおり。

(1) 第五次国際化基本計画における意見公募手続きの結果について
資料1に基づき、事務局から説明。

●以前、クラスで、弁護士による相談会のような制度をしていたと思うが、今は行っているのか。

⇒外国籍市民に対して、生活相談や法律相談、ビザの相談を行っており、特に法律相談については月に1度のペースで実施している。

●ボランティアでも、毎週決まった曜日、時間に相談会をしていたことがあったが、あまり周知がされていないのが現状だと思うため、もっと広めた方が良いと思う。

⇒令和元年度の市民意識調査の結果からも、こうしたサービスに関する周知が徹底されていない結果であったため、今後、SNSなどを活用してさらなる周知に努めていきたい。

●公民館等の受付スタッフは基本的にシルバー人材センターの派遣で、ご高齢の方が多い。そこで、今後、職員が足りない場合には、大学を卒業してからしばらくの間、若者にそこで仕事してもらうのも良いのではないかと思う。

⇒公民館を外国籍市民との交流の場とするのは、的を射たご意見だと思うが、公民館の職員に現在の状況を聞くと、そこまでの対応は厳しい。ただし、公民館の機能には地域住民との交流もあるため、そうした面に対してコーディネーターを置いてほしいという要望は事務局から出していきたい。その際には若者が入ることで地域も盛り上がると思うため、そのあたりも留意しつつ、事務局から働きかけていきたい。

(2) 第五次川越市国際化基本計画の策定について
資料2及び追加資料に基づき、事務局より説明。

●13ページから14ページ間の市民意識のグラフについて、モノクロだと濃淡が明白でないところがある。

⇒本審議会では、委員の皆様にはモノクロ印刷した資料を配布しており、見づらい部分がある。ホームページではフルカラー版が掲載されるが、配色については見やすくなるよう検討し、今後修正した最終版を報告させていただく。

議事の経過

- 15ページのアンケートで日本語がどのくらいできるかを聞いているが、できるレベルは、回答者の自主的な判断なのか。仮にそうだとすると、個人の性格や人柄などで、評価が変わってしまうのではないか。

⇒ご指摘のとおり。アンケートはやさしい日本語、英語、中国語、ベトナム語で行っているが、そもそもアンケート調査票自体わからない人にはご回答いただけないため、ある程度バイアスがかかった調査結果であることは認識している。実態は必ずしもこのとおりではないと考え、計画を推進していきたい。

(2) その他

市長への答申について、資料3に基づき、事務局より説明。

(答申書(案)について、委員意見なし)

4 閉会